

# それ、全部「水」でできています

## コンセプト

一般的に、日本は水資源の豊富な国というイメージが強いと思います。普段私たちが生活していて水に困ることは全くと言ってよいほどありません。

しかし世界では、水が不足している国もあれば、急激な人口増加や工業等の発展にともない、途上国を中心に水質汚染が問題となっている国もあります。日本では、このような国々にたくさんのボランティアを行っています。しかし、まだ十分ではありません。

そこで私達は、「日本の水」・「世界の水」について調べながら、私達にも提案できることはないのか、考えてみることにしました。

## 日本が行っているボランティア

- ☆ 安全な飲料水の供給をめざす  
飲料水のためのポンプ・井戸の整備支援活動
- ☆ 水と健康の社会教育活動  
絵本による、水と健康の教育  
小・中学校に農園を造り、安全な農畜産物を給食へ
- ☆ 自主・自立開発運営をめざす  
農村開発モデル事業を推進中  
技術・ノウハウの移転事業の支援活動

## こんな飲料水見たことありませんか？

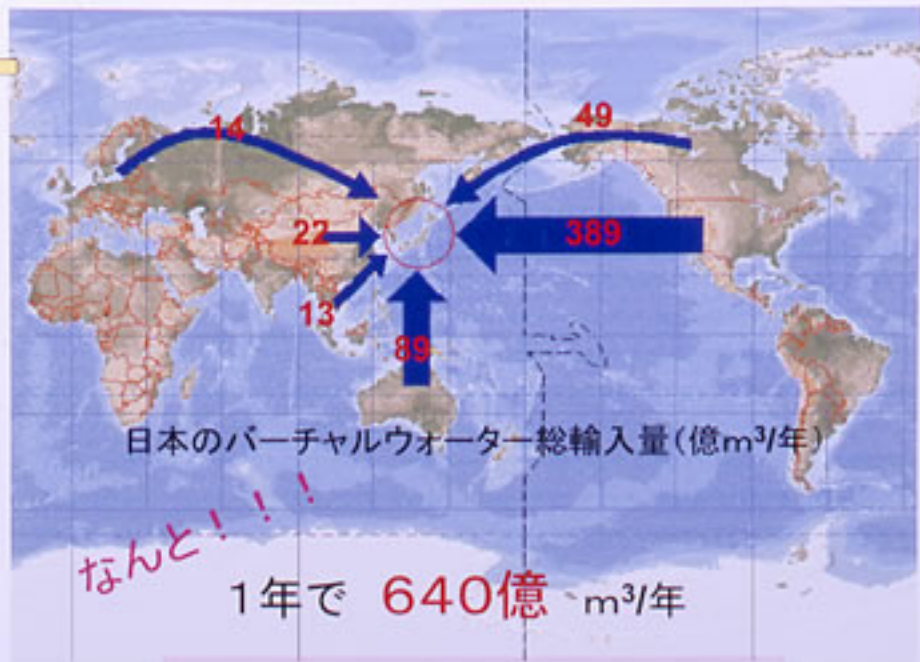


健康のために水の種類や成分にまでこだわるようになった日本・・・

—— なぜ、こんなに水が豊富なのでしょうか ——

# バーチャルウォーター 知っていますか？

バーチャルウォーターとは、海外からの輸入品を日本国内で作ろうとしたときに必要となる水のことで、主に農畜産物などの自給率が低い日本では、多くのものを輸入に頼っています。こうした農畜産物を耕作・飼育するには、当然大量の水が必要です。つまり、日本は農畜産物の輸入を通して海外の水を消費していることになるのです。



牛1頭を育てるには  の水が必要

つまり、300gの牛肉1パックでペットボトル3000本もの水が必要となるのです。

他にも...

豚1匹 → → →



大豆1kg → → → 2500



鶏1羽 → → →



卵1コ → → → 100



海外からの輸入 = 水の輸入

日本は、他の国からバーチャルウォーターを使わせてもらっているため、大量の水を使わずにすんでいるのです。だから、日本の水は豊富であり、自由に使うことができるのです。

「日本は世界一の水輸入国である」 2

# 日本の水の使用量

- ☆トイレ1回使用 → 10~15%
- ☆シャワー・水道1分間 → 8~10%
- ☆お風呂1杯 → 220%
- ☆洗濯機1回使用 → 120%



世界の1日の水使用量(1人当たり)

- 1位 アメリカ 425%
- 2位 日本 322%
- 3位 オセアニア 305%
- 4位 ヨーロッパ 280%
- 5位 アフリカ 63%



このようにして見ると、日本はとても「水」の豊かな国であることがわかります。

しかし、実はそうではないのです！！



日本は地形上、水を貯えられないため、川から流れてきた水は、海に流れてしまいます。そのため、飲料水としての水は、ほとんどないのです。そして日本は、年間水使用量の約2/3の量をバーチャルウォーターとして輸入しているのです。

もし、海外からの輸入が途絶えてしまったら・・・



それは、日本から「水」が消えると同じことなのです！

# 世界の現状と提案

今、世界では8人に1人が水不足などによって命を落としています。蛇口をひねれば、いつでも安全な水が出てくる日本・・・そんな日本に住んでいると、世界で起きている水の問題には、あまり実感が湧かないかもしれません。

しかし、これまでのことから、**この問題は日本の問題でもある**ということに気が付いてもらえたでしょうか。

今、日本では水不足の国々に対して、さまざまなボランティア活動をおこなっています。しかし、それはまだ一部の地域であり活発にするためには、当然もっと資金が必要となってきます。そこで私達は、次のことを提案します。

## ① 輸入にばかり頼らない

もっと自国での農業や工業の生産を増やしたらどうだろうか。そうすれば、今まで輸入に使っていたお金をボランティアの資金にまわすことができる！

## ② 河川等の水を汚さない

水が汚れていなければ、水をキレイにする機械などは使わなくてすむ！ということは、今までその機械を使用するために使ってきたお金を、ボランティアの資金にまわすことができる！！

# 人類が使う 人工的な水の循環

地球上の自然的な水の循環は変えることができない。しかし、人工的な水の循環であればコントロールできる。つまり、今度は日本の水を世界に供給しよう。

- ① 海外からの観光客を通じて日本のおいしい水を世界の人に飲んでもらおう！
- ② 日本の付加価値のついた各地の名水を世界に供給しよう！！
- ③ 日本から世界へ農畜産物・工業製品の輸出・・・

つまり、バーチャルウォーターとして  
世界へ——